

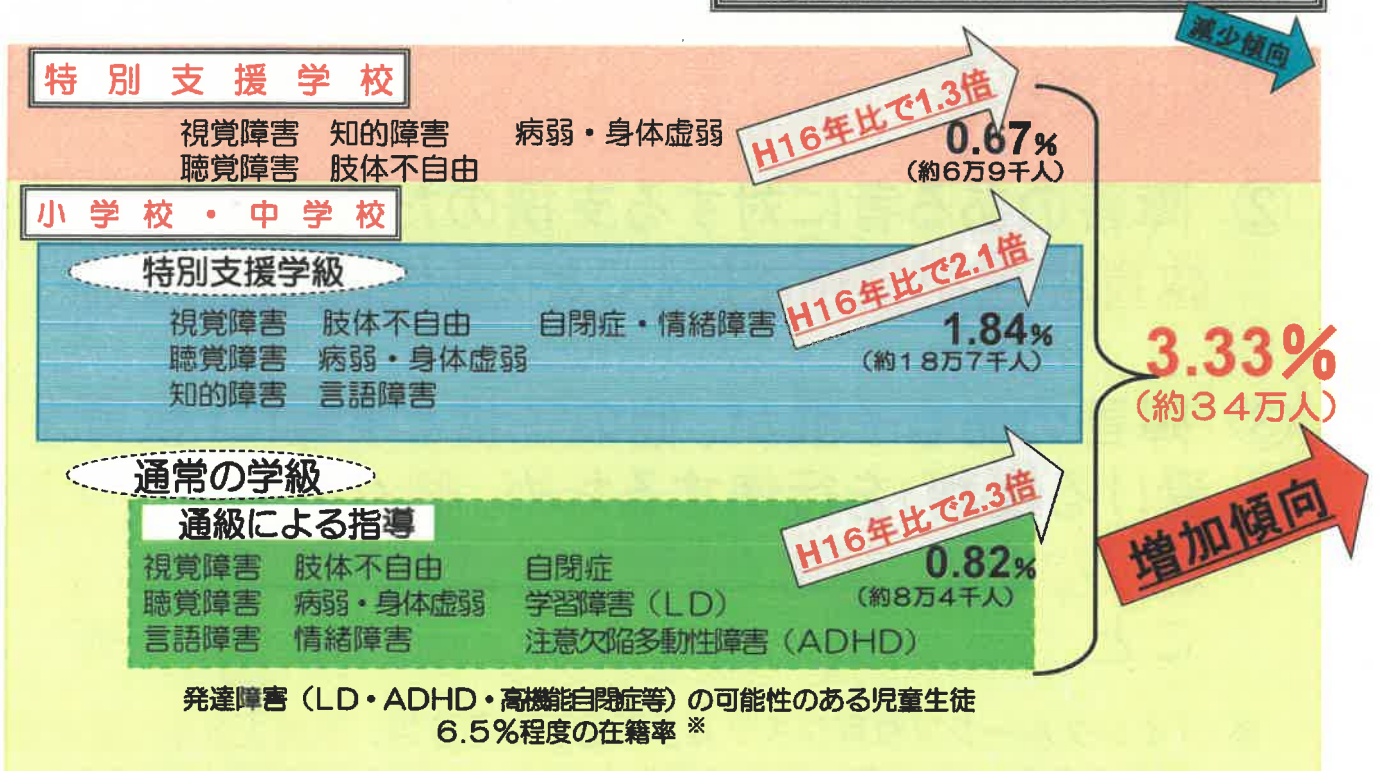
1. インクルーシブ教育システムについて

-1-

特別な支援を必要とする児童生徒の増加

(平成26年5月1日現在)

義務教育段階の全児童生徒数 1019万人



※ 平成24年に文部科学省が行った調査において、学級担任を含む複数の教員により判断された回答に基づくものであり、医師の診断によるものではない。

-3-

現在の重要課題～共生社会の実現との関係～

- 障害者が積極的に参加・貢献できる社会＝共生社会の実現は、様々な人が生き生きと活躍できる社会の実現であり、国民全体にとって有益。
- 各分野において、共生社会実現のための取組が進められている。
- 教育分野の重要課題は、一人一人に応じた指導や支援(特別支援教育)に加え、障害のある者と障害のない者が可能な限り共に学ぶ仕組み(インクルーシブ教育システム)を構築すること。

-4-

インクルーシブ教育システムの構築に必要な要件

- ① 障害のある者が一般的な教育制度から排除されないこと
- ② 障害のある者に対する支援のために必要な教育環境が整備されること(基礎的環境整備)
- ③ 障害のある子供が、他の子供と平等に「教育を受ける権利」を行使するため、個々に必要となる適当な変更・調整(合理的配慮)が提供されること 等

※ 「インクルーシブ教育システム」と必要な要件は、平成18年に国連で採択された「障害者の権利に関する条約」において初めて提唱された、新しい概念である。

-5-